

KAZELFA

有馬律子

ハープリサイタル ～moll の色彩～



*Ritsuko Arima
Harp Recital
2022 in Tokyo*

AOYAMA



AOYAMA MONARCH
Model: 471

AOYAMA HARP CO.
青山ハープ株式会社
www.aoyama-harp.co.jp

本社・工場 〒910-1127 福井県吉田郡永平寺町松岡吉野堺15-62-1 TEL.0776-61-4182 / 東京営業所・ショールーム TEL.03-3512-4390 / 大阪営業所・ショールーム TEL.06-6966-2388

皆さま

才能ある若き日本人音楽家の活躍を目の当たりにするのは、どんな時も大変嬉しいことです
が、とりわけ本日の演奏者である有馬律子さんのように、チェコへ留学され、そこで音楽への情
熱を追求された方であってみれば、それはなおさらのことです。

有馬さんは、数年にわたって、チェコ国立ブルノフィルアカデミーにおいて、チェコ・フィル
ハーモニー管弦楽団首席ハープ奏者であるヤナ・ボウシュコヴァー氏のもとで研鑽を積みまし
た。この経験により、有馬さんは、日本とチェコの両方の音楽の伝統に感化を受け、ご自身が世
界でもトップクラスの称賛を受けるハープリストとなったのです。

私は、この比類のないコンサートを企画された主催者に感謝を申し上げるとともに、皆さまが
素晴らしい宵のひと時を過ごされることを心から願っております。

マルチン・トムチョ
大使
駐日チェコ共和国大使館



チェコ共和国大使館



Dear guests,

It is always a great pleasure for me to see young and talented Japanese musicians like Ritsuko Arima who decided to pursue their passion for music and who set out for a journey to spend part of their studies in the Czech Republic.

Ms Arima studied several years at the Czech National Brno Philharmonic Academy under the supervision of Ms. Jana Boušková, the chief solo harpist of the Czech Philharmonic Orchestra. Thanks to this experience, Ms Arima was inspired both by the Japanese and Czech musical tradition, and finally became a world-class award-winning harpist herself.

I want to express my sincere thanks to the organisers for holding such a unique concert and I wish you all a pleasant evening.

Martin Tomčo

Ambassador

Embassy of the Czech Republic in Tokyo

親愛なるゲスト、親愛なるリスナーの皆様、

今日のコンサートは特別なものになると確信しています。

有馬律子は若い世代の優れたハープ奏者であり、間違いなく日本最高のハープ大使の一人です。
彼女の元教授として、私はリツコの資質を良く知っていますので、皆さんが本日の素晴らしい経
験をされることをお約束したいと思います。

リツコは本当に大スターになる運命にあると確信しています。

素晴らしいひと時をお送りください。そしてこの素晴らしい経験の後、皆様方がハープのコン
サートの常連のお客様となること心からお祈りしております。

ヤナ・ボウシュコヴァー

ハープソリスト

ロンドン王立音楽大学 教授

プラハ・パフォーマンス芸術アカデミー 教授

チェコ・フィルハーモニー首席ハープ奏者



Dear guests, dear listeners,

I am sure that today's concert will be extraordinary.

Ritsuko Arima is an excellent harpist of the young generation and certainly one of the best harp ambassadors of Japan.

As her former professor, I know Ritsuko's qualities and therefore I can guarantee you a wonderful experience today.

I am convinced that Ritsuko is destined to become a really big star.

I wish you wonderful moments and I believe that after this wonderful experience, you will become regular guests of harp concerts.

Sincerely,

Jana Boušková

Harp Soloist

Professor at Royal College of Music in London

Professor at the Academy of Performance Arts in Prague

Principal Harpist of the Czech Philharmonic

www.jana-bouskova.com/

プログラム

スカルラッティ | ソナタ 二短調 K.9 L.413

Scarlatti | Sonate in d K.9 L.413

シュポア | 幻想曲 八短調 op.35

Spohr | Fantasie c moll op.35

ウーディ | ハープのためのソナタ

Houdy | Sonate pour harpe

I Allegro moderato

II Lento

III Vivo

◆ 休憩 (20 分間) Intermission (20 minutes)

トゥルニエ | 前奏曲と舞曲「妖精」

Tournier | Feerie prelude et danse

スメタナ | モルダウ (トゥルネチェク編曲)

Smetana | Moldau for harp solo

有馬律子 ハープ

Arima Ritsuko - harp

2022.10.14 (金) 19:30 開演 (19:00 開場) ルーテル市ヶ谷センター

19:30, Friday, 14th Oct. 2022 at Lutheran Ichigaya Center, Tokyo

本公演は、文化庁による「AAF2」(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)からの支援を受けて開催されております。



主催: KAZELFA 株式会社 後援: チェコ共和国大使館 在日チェコ商工会議所 新宿区

Organizer: KAZELFA Corporation

Auspice: Embassy of Czech Republic in Tokyo,

CCCIJ (Czech Chamber of Commerce & Industry in Japan), & Shinjuku City

KAZELFA



チェコ共和国大使館



EU2022.CZ



有馬律子（ハープ）

ご挨拶

この度は有馬律子ハープリサイタルへお越しくださり、心から感謝申し上げます。

今回のプログラムは、副題の通りすべて **moll** の楽曲で構成致しました。

スカルラッティ (1685-1757) から ウーディ (1929-2021) まで、作曲家の出身・活躍された国や時代は様々ですが、それぞれの楽曲の「**moll** の色彩」。そして同時に **moll** の中に現れる“**dur** の色彩”まで楽しんでいただけたら幸いです。

普段はフリーランスとして主にオーケストラで活動しておりますが、今日はハープ一台でここルーテル市ヶ谷ホールにて、これらの楽曲を皆さまと共有できますことを楽しみにしております。

有馬律子



東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。チェコ国立ブルノフィルアカデミー修了。

2004 年第 16 回日本ハープコンクールジュニア部門 第 2 位受賞。

2006 年第 18 回日本ハープコンクールジュニア部門 第 2 位受賞。

2008 年第 20 回日本ハープコンクールアドバンス部門 第 2 位受賞。

2010 年第 2 回ハンガリー国際ハープコンクール 21 才以下の部 第 3 位受賞。

2015 年第 27 回日本ハープコンクールプロフェッショナル部門 第 1 位受賞。

2015 年藝大卒業時に同声会賞受賞。同声会新人演奏会に出演。

2014 年藝大モーニングコンサートにてロドリゴ作曲アランフェス協奏曲を藝大フィルと共演。

2021 年愛知室内オーケストラと共演。

2010 年 CD「翔く若手ハーピスト 2010」参加。

2017 年 CD「Contemplation～瞑想～旋律を紡ぐハープの音色～」を発売。

今までにハープを迫本宣子、早川りさこ、木村茉莉、ヤナ・ボウシュコヴァの各氏、ピアノを藤原亜美、江口玲の各氏に師事。現在、フリーの演奏家として活動中。

スカルラッティ ソナタ 二短調 K.9 L.413

“moll の色彩” というテーマでまとめられた今回のハープリサイタルの最初のプログラムは、スカルラッティの二短調、d moll のソナタから始まります。

ジュゼッペ・ドメニコ・スカルラッティ (Giuseppe Domenico Scarlatti, 1685 年 10 月 26 日 - 1757 年 7 月 23 日) は、有名な作曲家であるアレッシンドロ・スカルラッティの 10 人兄弟の 6 番目の子としてイタリアのナポリに生まれました。スカルラッティ家はバッハ家やクーラン家と同様の音楽家の一族でした。1701 年にナポリの教会付き作曲家兼オルガン奏者に 15 歳で就任し、その後 1705 年にヴェネツィアに、さらに 1709 年からはローマに住みサン・ピエトロ大聖堂のジュリア礼拝堂の音楽監督を務めました。ローマ時代にはヘンデルとチェンバロおよびオルガンの腕前を競い合ったという逸話があります



スカルラッティはその生涯に管弦楽曲、歌劇、オラトリオ、ミサ曲、カンタータなどの宗教曲も残しましたが、500 曲以上の鍵盤楽曲、一般的にはチェンバロのためのソナタがひと際有名です。現在ではこれらのソナタの多くの曲がチェンバロだけでなく、ピアノやギターなど他の楽器で多くの機会演奏されています。

二短調のソナタ K.9 L.403 はスカルラッティの鍵盤のためのソナタのうち、比較的初期に出版した曲集の一つで彼が音楽教師として生徒たちの日々の練習用という実用的な目的で書かれたと推測されています。特徴的な 3 度の協和音程による響きにオクターヴで響きを増した終止の長い主音が「パストラル」という呼称を生み出したものと言われています。右手に *tr.* (トリル) が多く使われていることが印象的な楽曲です。

シュポア 幻想曲 八短調 op.35

ルイ・シュポア (Louis Spohr, 1784 年 4 月 5 日 - 1859 年 10 月 22 日) は、ドイツの作曲家、ヴァイオリニスト、指揮者で、ドイツのブラウンシュヴァイク＝リュネブルク公国のブラウンシュヴァイクで 1784 年に生まれました。母親は歌手でありピアノも演奏し、父親はフルートを演奏する音楽一家でした。幼少期よりヴァイオリン演奏の才能を示し、1790 年代初頭からは作曲も始めていました。1804 年 12 月にはライプツィヒに赴いて演奏会を行い、この演奏会ではヴァイオリンの技能だけでなく、自身の優れた作曲能力によって一夜にしてドイツ語圏の楽壇で有名になりました。



以後シュポアはゴータの宮廷楽長に就任し、1805 年から 1812 年まで同地に滞在した。そこで当時 18 歳のハーブ奏者、ドレッテ・シャイトラー (Dorette Scheidler) と出逢って恋に落ち、翌 1806 年 2 月 2 日に結婚し、その後、妻とともにヴァイオリンとハーブの二重奏を組み、演奏旅行で 1816 年から 1817 年まではイタリア、1820 年にイングランド、1821 年にはパリで演奏会を行って成功をおさめました。

1822 年からは、ウェーバーの申し出によってカッセルの宮廷楽長の役職を得ることができ、これは彼の没年まで続きました。

シュポアは多作な作曲家であり、作品数は優に 150 曲を超えます。室内楽曲は、弦楽四重奏曲だけでも 36 曲あり、その他の編成の四重奏や、二重奏、三重奏、五重奏、六重奏、八重奏や九重奏のための楽曲のほか、ヴァイオリン独奏曲やハーブ独奏曲、夫婦で演奏するために書かれたヴァイオリンとハーブのための二重奏曲もあります。

彼はまた著名なヴァイオリニストでもあり、ヴァイオリンの顎あての発明者でした。また名指揮者として最初に指揮棒を使い始め、アルファベットの大文字による練習番号を使い始めた最初の作曲家でもありました。

幻想曲 八短調 op.35 は新婚時代の 1807 年に妻のドレッテ・シャイトラーのために作曲したハーブの独奏曲で、世界各地のハープリサイタルで多くのハーピストによって取上げられている情緒豊かな幻想曲となっています。

ウーディ ハープのためのソナタ イ短調

ピエリック・ウーディ (Pierick Houdy, (1929 年 1 月 18 日 - 2021 年 3 月 22 日) は、フランスの作曲家、オルガニスト、ピアニスト、カペルマイスター、および教授。

ウーディは、1935 年にレンヌ音楽院で音楽の勉強を始めました。彼の最初の作曲はその年（当時 6 歳）に書かれました。1937 年、レンヌ・オペラ座で初めて公の場で演奏し、最初の 4 つの作品がアンリ ルモワースから *À mes petits amis* というタイトルで出版されました。マルグリット・ロン、ラザール・レヴィにピアノを習い、1939 年にパリ音楽院に入学し、ノエル・ガロン、ナディア・ブーランジェ、シモーヌ・プレ＝コサード、モーリス・デュリュフレ、オリヴィエ・メシアン、ダリウス・ミヨーなどに師事。1953 年にローマ大賞の *Deuxième Prix* を受賞し、1954 年にはパリ音楽院の作曲部門で一等賞を受賞し、同年のパリ市グランプリでも受賞しました。



ウーディは、1955 年から 1960 年までトゥール音楽院の院長、1963 年から 1964 年にはスコラ・カントルムの教授、1965 年から 1969 年まではサン・セヴラン教会のカペルマイスター、フランス放送局の指揮者を務めました。1966 年から 1969 年まで。その後、カナダ、ケベック州のラヴァル大学とケベック音楽芸術演劇学校で作曲の教授を務めました。1972 年、ラジオ・カナダはケベックの音楽の伝統に触発されたミサを依頼し、完成したメッセ・ケベックは、1978 年にグランプリ・デュ・ディスクを受賞しました。彼は 1992 年にフランスに戻り、プレストとカンパールで音楽の執筆を教え始めた。1997 年にハープとオーケストラのためのコンチエルト・フランセを書き、イザベル・ペランに捧げました。昨年の 2021 年 3 月 22 日に惜しまれつつル・パレにて 92 歳で亡くなりました。

ウーディはパリ音楽院で有名なハーピストのピエール・ジャメのハープ・クラスの学生だったギスレーヌ・ド・ウィンター (Ghislaine de Winter) と 1954 年に結婚しました。彼が新婚の妻のために書いたハープのためのソナタは、1955 年に初演以来多くの称賛を受け、以来ハープのレパートリーのスタンダードとなっています。1. *Allegro moderato* 2. *Lento* 3. *Vivo* の 3 楽章から構成されています。

トゥルニエ 前奏曲と舞曲「妖精」 イ短調

マルセル・リュシアン・トゥルニエ (Marcel Lucien Tournier, 1879 年 6 月 5 日 - 1951 年 5 月 12 日) は、フランスのハープ奏者・作曲家・音楽教師。

パリ音楽院でアルフォンス・アッセルマンに師事し、1912 年にアッセルマンが急逝すると、1948 年までその後任教授を務め、2 世代にわたって重要なハープ奏者を育て上げました。トゥルニエの門人はフランス国内ばかりでなく、欧州諸国や米国、日本にまで広がっています。

ハープの演奏技巧や和声的な可能性を最大限に引き出した、数々の重要なハープ独奏曲を作曲しました。彼の作品は演奏会や録音で定期的に取り上げられ、しばしばコンクールの課題曲にも選ばれています。作曲数は数多く、ロシアの子守歌、6 つのノエル（クリスマス）、4 つの前奏曲、3 つ

のイメージ、ハープ・ソナチネ、夜想曲、組曲など数十曲のハープ独奏曲のほか、ハープを含む数々の室内楽や、ピアノと管弦楽のための作品も若干残しました。1909 年にはローマ賞の二等賞を獲得しています。



前奏曲と舞曲「妖精」は 1912 年に作曲され、師のアッセルマンに捧げられました。この曲は 20 世紀のフランス音楽に共通する多くの特質を明らかにしています。洗練されたフレーズ、透き通ったテクスチャー、そして色彩など、ハープの音色の可能性を絶えず探求することで、トゥルニエは楽器の表現力を向上させました。

スメタナ モルダウ 変ホ短調 (トウルネチェク編曲)

ベドルジハ・スメタナ (Bedřich Smetana 1824 年 3 月 2 日 - 1884 年 5 月 12 日) は、チェコの作曲家・指揮者・ピアニスト。

スメタナは、当時、オーストリア＝ハンガリー帝国（オーストリア帝国）によって支配されていたチェコの独立国家への願望、チェコ民族主義と密接に関係する国民楽派を発展させた先駆者です。そのため祖国チェコにおいては、広くチェコ音楽の祖とみなされています。国際的には、6 つの交響詩から成る「わが祖国」と、オペラ「売られた花嫁」、弦楽四重奏曲第 1 番「わが生涯より」で広く知られています。

Má Vlast 「わが祖国」は、スメタナの祖国であるチェコの歴史、伝説、風景を描写した全 6 曲の連作交響詩で彼の作品の中でも最も人気の高い作品であり、毎年プラハで開催されるプラハの春の音楽祭の初日に演奏される名曲です。



その中の 2 曲目の Vltava はそのドイツ語名の「モルダウ」として特に有名な曲で、チェコを南北に流れるモルダウ川の情景を見事に表しています。水滴・小川からはじまるモルダウ川が森林や牧草地、夜は月光の下、水の妖精たちが舞う中を流れていき、廃墟となった城を横切り、急流となり渦を巻き、嵐を抜けて徐々に川幅が大きくなりながらプラハの高い城を過ぎ、ついに首都プラハへ流れます。こうして長い流れを経て、最後はドイツの川へと消えていく、1 つの川を描写しています。

オリジナルはフル・オーケストラのために書かれた楽曲ですが、これをチェコの作曲家、ハヌス・トウルネチェク (Hanuš Trneček, 1858-1914) がハーブ独奏用に編曲しました。オーケストラの楽曲をハーブ一台で表現するにあたり、高度なテクニック、体力を必要とされますが、ハーブらしい奏法であるアルペジオが各所に散りばめられ、壮大な川が巧みに表現されています。 (主催者：野本一夫 編)



イタリア料理店 ミロ清里

雄大な眺望が楽しめる観光地、八ヶ岳南麓、清里高原。
創業 1972 年の老舗ミロ清里は古き良きイタリアの伝統的な作り方と味を守る、料理歴 46 年のシェフが届ける唯一無二の場所。
前菜・手打ち生パスタ・ドルチェまで、健康と美味しさをモットーに厳選した食材から作るシンプルで繊細な味をお届けします。
伊産エキストラヴァージンオリーブオイル 100% 使用。



山梨県北杜市高根町清里 3545-1 清里の森
営業時間 11:30-15:00 17:30-20:00
定休日：火曜日
Tel. 0551-48-3737
<https://r.goope.jp/mirokiyosato1972>



JR 小海線「清里駅」から
徒歩 10 分

アキルノテラス YAKITORI & WINE

今年 3 月、JR 五日市線 武蔵増戸駅から徒歩 3 分の五日市ファインブラザ向かいに新規オープン。
自然派のワインを揃え新しい焼き鳥屋のイメージを提案。パスタなどアラカルテメニューも豊富です。店の雰囲気はアメリカンテイストな仕上がりで 28 席あるテラス席はとても開放的。奥多摩でのハイキングやロードバイク、スポーツ後のリフレッシュにもどうぞ。土日祝日にはランチも提供致します。



東京都あきる野市伊奈 979-7
営業時間 平日 17:00-22:00
土日祝 12:00-15:00 16:00-22:00 定休日：水曜日
Tel. 042-588-4099
<https://www.facebook.com/akirunoterrace/>



JR 五日市線「武蔵増戸駅」
から徒歩 3 分

CD & ポストカード ロビーで販売中！



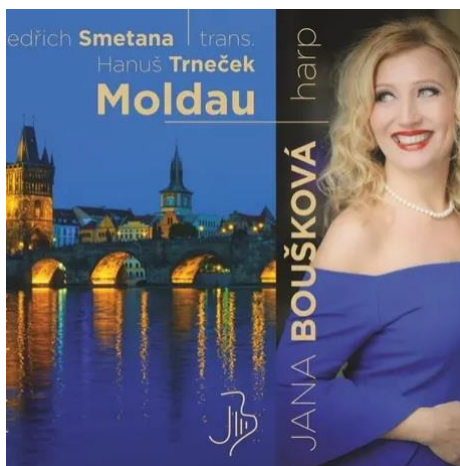
Contemplation – 瞑想 – Ritsuko Arima
価格 3,500 円 [税込]



有馬律子 自作イラスト ポストカード 各種
価格 100 円 / 枚 [税込]

チェコ留学時代の恩師 ヤナ・ボウシュコヴァー（チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 首席ソロ・ハーピスト）

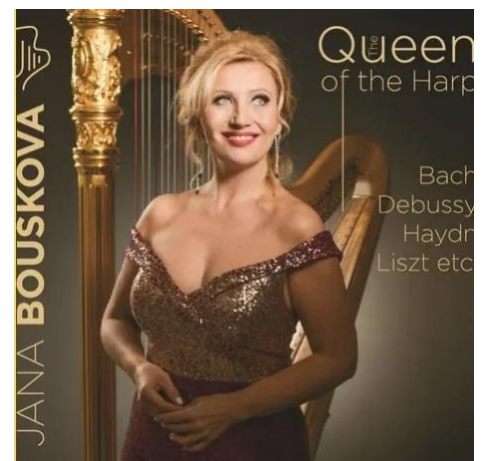
自主制作 CD（日本語解説書付き） 特価販売



Moldau モルダウ
特価 500 円 [税込]



Virtuoso Encores
ヴィルトゥオーゾ・アンコール
特価 1,500 円 [税込]



Queen of the Harp
クイーン・オブ・ザ・ハープ
特価 1,500 円 [税込]

★恐れ入りますが、お支払いは現金のみとさせて頂いておりますのでご了承ください。

公演間近！ チケット 好評発売中

KAZELFA

Ensemble Peony Wind Quintet Concert in Tokyo

Ensemble Peony 木管五重奏コンサート

～ チェコ音楽の彩り ～



2022.
11/29 [火]
19:00 開演 (18:30 開場)
19:00, Tuesday, 29th Nov. 2022 at Tiara Koto (Small Music Hall)

ティアラこうとう(江東区江東公会堂) 小ホール
都営地下鉄 新宿線 / 東京メトロ 半蔵門線 住吉駅 徒歩4分

全席自由 一般 3,000円 [税込] 大学生以下 2,000円 [税込]
オンライン同時配信チケット 2,000円 [税込]

Program

ムライヒヤ：木管五重奏曲 ニ長調 op.91-3
Antonín Rejcha | Wind Quintet in D major op.91-3

A.ドヴォルザーク(D.ヴォルター編)：
弦楽四重奏曲 第12番「アメリカ」
ヘ長調 op.96 B.179
Antonín Dvořák | String Quartet No.12 in F major "America"
op.96 B.179 (arranged for Wind quintet by David Walter)

L.ヤナーチェク：木管六重奏のための組曲
『青春』 JW 7/10
Leoš Janáček | Suite for Wind Sextet "Mládí (Youth)" JW 7/10

※都合により予告なく曲目が変更になる場合があります。

公式ウェブサイト Peony コンサート 検索

プレイガイド

チケットは公式
ホームページから



KAZELFA 株式会社は、チェコ共和国のエルマルコ社のユニークなナノテクノロジー技術を利用したナノファイバー製造装置のアジア地区のビジネス・パートナーです。在日チェコ商工会議所の創設者の一社でもあり、日本とチェコ共和国の両国間で経済と文化の両面での交流に努めております。

クラシック音楽コンサートでは、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団の首席ハーピストのヤナ・ボウシュコヴァー氏の来日公演を始め、チェコとも深い関係のある日本の若手演奏家の活躍の場を広げてまいります。



チェコ共和国 エルマルコ社 ナノファイバー製造装置

これまでの主催公演

- ヤナ・ボウシュコヴァー ハープリサイタル 東京公演 2017
- 中園理沙 ピアノリサイタル ブラハ公演 2017
- 有馬律子 ハープリサイタル 東京公演 2018
- ヤナ・ボウシュコヴァー ハープリサイタル 愛知・長野・東京公演 2019
- 丸山佳織 ファゴットリサイタル 東京公演 2021



有馬律子 ヤナ・ボウシュコヴァー
2019.4.15 東京公演にて



LYON & HEALY
Harpmakers to the world since 1889

日本総代理店

GINZA  JUJIYA
株式会社 銀座十字屋

住 所：東京都中央区銀座 4-4-5 銀座旗ビル 5F（銀座駅から徒歩 1 分）
電 話：03-3535-2834
営 業：平日 10:00-21:00、土日 10:00-18:00
定休日：祝祭日、年末年始



▲弊社公式サイト

楽器販売、音楽教室に加え「音楽スタジオ」のサービスを開始しました。詳細は弊社公式サイト（ginzajujiya.com）、またはお電話でお問合せください。



在日チェコ商工会議所

Chamber of Commerce and Industry in Japan (CCCIJ)

日本とチェコの

ビジネスの発展をサポートしています

- To support the business interests of members and provide relevant business networking opportunities and dialogue between members.
- Our Chamber aims Czech companies doing business in Japan and Japanese companies interested in dealing with Czech Republic by offering practical services, advices and organizing networking opportunities.
- Provide a professional and social environment for business people who wish to be introduced to, and become a part of, the Czech-Japan business and culture community.
- To organize, co-organize and support:
 - > business related events
 - > networking
 - > seminars and exhibitions
 - > culture events

Visit us at : cccij.com

